

平成29年3月13日

川島町教育委員会

教育長 中村 正宏 様

川島町立小・中学校通学区域審議会

会長 蓮見 重人

小学校統合に伴う新設小学校の通学区域の編成について（答申）

本審議会は、平成29年1月16日付け川教総第1514号で諮問を受けた標記の件については、慎重に審議を行い、下記によることが妥当であるとの結論に達しましたので、答申します。

記

1 審議結果

- (1) つばさ南小学校の通学区域は、三保谷小学校区と出丸小学校区を合わせた区域とし、つばさ北小学校の通学区域は、八ッ保小学校区と小見野小学校区を合わせた区域とする。
- (2) 実施時期は、平成30年4月1日からとする。
- (3) 八ッ保小学校区に存する山ヶ谷戸字六郎地区、同字押出地区、同字門無地区（以下「山ヶ谷戸字六郎地区等」という。）については、当該地区の児童保護者から、つばさ南小学校へ児童を通学させたいことを理由に、指定校変更申請があった場合、これを承認する方向とする。

2 付帯意見

- (1) 指定校変更にあたっては、学校やP T A、地域などとの連携を図り、スクールバスの活用も視野に入れながら通学上の安全確保に十分配慮して承認すること。
- (2) さらに将来に予想される学校統廃合に際し、町内全域の通学区域を見直すこととし、併せてスクールバス運行体制に関する研究を進めること。

3 審議経過

(1) 審議における基本的な考え方について

基本的には、つばさ南小学校の通学区域は、三保谷小学校区と出丸小学校区を合わせた区域、つばさ北小学校の通学区域は、八ッ保小学校区と小見野小学校区を合わせた区域になるということで、理解を得られた。

(2) 審議において特に考慮に入れる事項について

1月17日、山ケ谷戸集落センターで、山ケ谷戸字六郎地区等の地域住民を対象に、統合小学校の通学区域の編成に関する説明会を実施した。説明会では「通学距離を斟酌して、山ケ谷戸字六郎地区等を、つばさ南小学校の通学区域に編入する。」ことについて意見を伺った。

現在、児童を八ッ保小学校に通学させている保護者の意見では、通学距離が近くても三保谷小学校（平成30年4月より「つばさ南小学校」）に子どもを通わせるのは受け入れ難いとのことであった。また、地域住民の意見では、距離は遠くても、これまで八ッ保小学校に通学してきた経緯や地域意識もあるため、三保谷小学校（平成30年4月より「つばさ南小学校」）に児童を通わせることは、抵抗感があるとのことであった。一方で、未就学児の保護者の意見では「子どもを一人で通学させることは問題がある。通学上の安全性の配慮から、スクールバスが利用できるならば、就学する学校にはこだわらない。」とのことであった。

これら説明会での意見に基づき審議を行った結果、保護者及び地域住民の意見を重視し「山ケ谷戸字六郎地区等は、つばさ北小学校の通学区域に編成するものとする。ただし、当該地区の児童保護者から、つばさ南小学校へ児童を通学させたいことを理由に、指定校変更申請があった場合、これを承認する方向とする。」という内容にまとまった。

(3) その他

今回の諮問事項は、学校の統廃合にかかる地域における通学区域の編成についてであるが、現在、町内には山ケ谷戸字六郎地区等と同様に、学校までの通学距離が3kmを超える地域が、中山小学校区の長楽地区などに存在する。また将来、学校の統廃合がある場合、遠距離通学となる地域が、さらに増えることも予想される。そこで、将来の学校の統廃合に際しては、通学距離だけでなく、通学路上の安全面など総合的な観点から、町内全域での通学区域の編成を検討すること。

また併せて、町内全域を対象としたスクールバスの運行体制についても研究することとした。